

バス東北申2号

「2018年度冬季ダイヤに関する申し入れ」について

JR東日本会社は、グループ経営ビジョン「変革2027」において、さらなる人口減少や自動運転技術の実用化「鉄道を起点としたサービスの提供」「ヒトを起点とした価値・サービスの創造」など2027年頃までの経営環境を見据えています。その様な状況の中で、岩手県ではBRTの自動運転の実用化実験なども行われ「さらに地方を豊に」の項目では持続可能な社会基盤のもと、活発な交流を通じて、すべての人が心豊かに生活できるサービスを提供も目指されています。その様な打ち出しのもと、二次交通としてのバスの役割も重要になると考えます。

現在、ジェイアールバス東北会社は異常なまでの要員不足に陥っていると言っても過言ではありません。仙台支店では、各箇所からの助勤でまかなっており、1日あたり約10名の要員が不足しています。また、退職者も一部の現場で出ており要員不足に拍車をかけています。その様な状況の中、安全を最大限に担保し、多くのお客様にご利用していただけるよう最大限のサービスを提供しなければなりません。今冬季ダイヤはコンプライアンスを守り、社員が働きやすい職場環境をつくりだすために、下記のとおり申し入れを行いますので、真摯な議論を要請します。

【申し入れ項目】

1. 2017年12月1日から2018年3月31日間の乗務員制度、協約・協定上の問題点を明らかにし、問題が発生している職場には要員を含めた対策を講ずること。
2. 乗務員制度、協約・協定上、労働基準法を遵守すること。
3. 2017年度冬季ダイヤ改正における検証事項と内容について明らかにすること。
4. 運行管理、点呼体制、安全設備等問題ないようにすること。
5. 異常時対応にゆとりある要員を配置すること。
6. 各路線内の除排雪について関係個所に徹底を図り万全の対策を講ずること。
7. 各現場の適正要員を明らかにし、現在の要員数を明らかにすること。
8. 泊まり行路の泊所等は問題のないようにすること。
9. 乗務員休憩所は、要員数に見合った休憩所を確保すること。
10. 今後のダイヤ等施策について明らかにすること。
11. 各現場の問題点は別途申し入れによる。

以上の項目を申し入れました。団体交渉は未定ですが、各分会で整理できない問題点をバス東北本部にご報告ください。「安全で働しやすい職場」を創り出すため、各分会で議論をお願いします。